



TITLE:

<批評・紹介> 遼史索引の跋に代えて

AUTHOR(S):

若城, 久治郎

CITATION:

若城, 久治郎. <批評・紹介> 遼史索引の跋に代えて. 東洋史研究 1937, 2(5): 499-500

ISSUE DATE:

1937-06-20

URL:

<https://doi.org/10.14989/138753>

RIGHT:

遼史索引の跋に代へて

此度刊出をみた「遼史索引」は、遼史の一般的研究を目標において編纂したが、愈々出来上つてみると、自から不満を感じる點が少くない。然し重要な事項については、一先づ役に立つことと思ふ。但だ重要と思はれる事項中にも不注意により、載せなかつたのもあ

り、反對に格別重要でない事項を却て載せ、或は一回の記載で済むものを、標出文字を變へて重ねて載せたりしたところのあるのは慚愧に堪へぬ。後者は先づいゝとして、前者については、他日誤植訂正と共に補遺をつくる考である。

標出及び排列の方法に就いても斷つて置かねばならぬものがある。例へば職官名の標出は凡例に云ふ如く大小・北南等を冠せるものを大抵これ等の文字を省ける官名の箇所に出すことにしたが、一方必要と認めたものについては、これを冠せるまゝで出してゐるものもあるので、其の間には適否の論議せらるべきものも相當あることと思ふ。又、凡例には記さなかつたが、耶律・蕭二氏の人名の標出に於て、姓を補つて掲出せるものと、姓を補はずに名だけで掲出せるものゝ二種がある、大體太祖以前の人名や、皇子名（耶律淳、雅里、大石等は例外）は名だけで出したのであるが、之の中には妥當でないと見られるものがあるであらう。又更に、同一の記事を並べて排列するのは、一般に便利には違ひない、特に見出しが官爵名の場合には、同一人名に冠せる同一の官爵名は大抵初出のものだけ掲

